

# 子どもの可能性を広げるために ～うちの子に合った育て方を見つけよう～



「一生懸命やっているのに、育児がうまくいかない」「全く手がかからないけど、大丈夫かな？」子どもは一人一人違う個性（性格）を持って生まれてきます。寝る子、寝ない子、よく食べる子、小食の子、みんな色々ですね。でもいくら個性でも、「育てにくさ」を感じさせるものだったら、周りの大人は大変です。その子に合った育て方を見つけ、にこにこ育児をはじめませんか？

☹️ **今までこんなことで、心配になったことはありますか？**

- |                               |                      |                       |
|-------------------------------|----------------------|-----------------------|
| 生まれた頃から寝つきが悪い<br>もしくは、寝てばかりいる | 母乳の飲みや、<br>離乳食の食べが悪い | 人見知りがでてこない<br>目が合いづらい |
|-------------------------------|----------------------|-----------------------|

☹️ **これから先、ちょっと気になる、ちょっと心配・・・こんなことがあったら、一緒に対応方法を考えていきましょう。ご相談ください。**

|     |                          |                           |                            |
|-----|--------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 1歳半 | 単語がでない<br>ことばの理解がわるい     | 離れていって、<br>戻ってこない         | 相手をしてもらっても喜ばない、<br>興味を示さない |
| 2歳  | ことばが繋がらない<br>やり取りにならない   | あそびや食事に、<br>こだわりが強い       | 少しの間もじっとして<br>いられない        |
| 3歳  | お友達と遊ぶのが苦手<br>(1人で遊んでいる) | 繰り返し教えても、身支度<br>などが身につかない | 熱中すると、他のこと<br>への切り替えが難しい   |

😊 **こんな時、こんな対応方法は、どうでしょう。**

言葉が少なく、  
かんしゃくが  
強い

楽しい遊びなどをおしまいにする時、かんしゃくを起こすことがよくあります。言葉が十分に理解できないと、先の見通しが持てず、不安が高まってしまいます。「次は車に乗るよ」など、わかりやすく声をかけ、ジェスチャーや実物を見せることで、次の行動が想像しやすいようにしてあげましょう。

かんしゃくが強い時は、場所を変えると子どもの気分も変わります。落ち着くまでお母さんと距離を置くのも一つの手です。

おもちゃの  
車のタイヤ  
ばかりをいじ  
ったり、投げ  
て遊ぶ

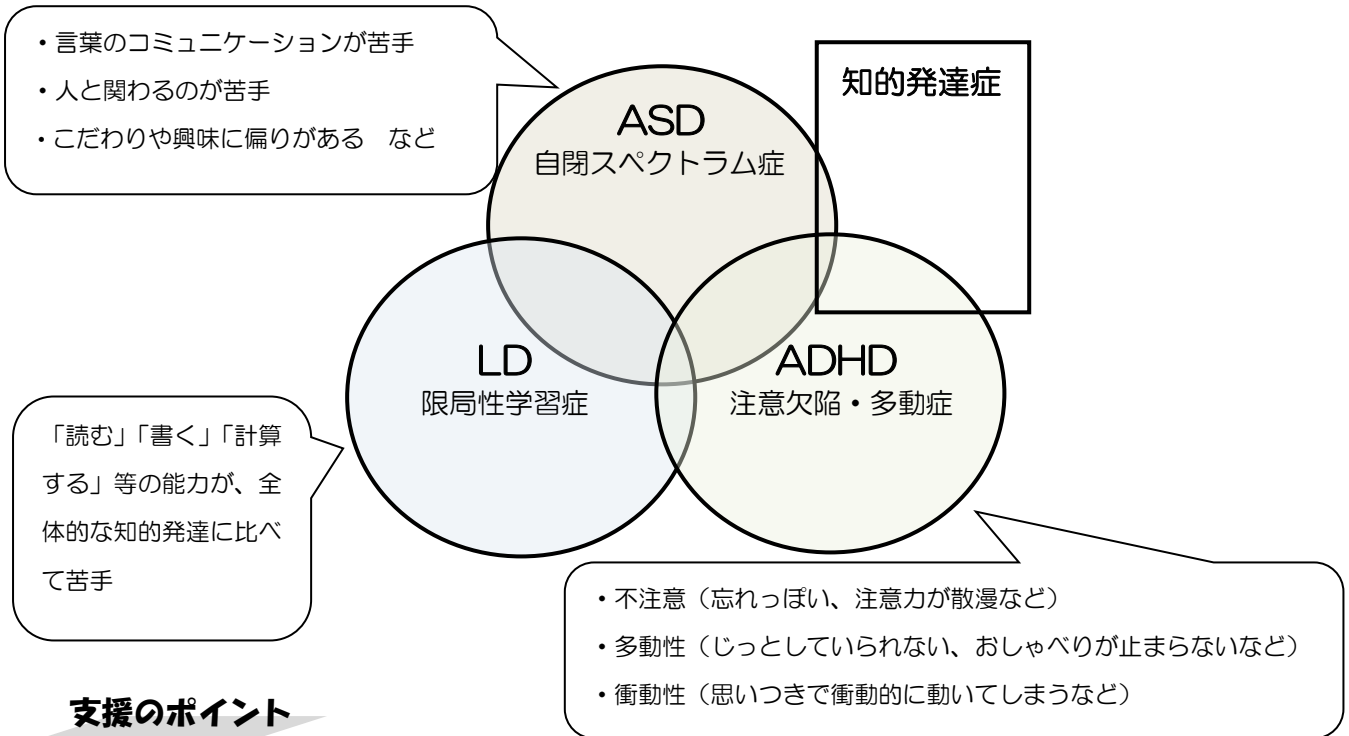
1歳6ヶ月頃になると、おもちゃの車を動かしたり、積み木を荷物に見立てて積んだりなど、おもちゃに合った遊び方ができるようになります。おもちゃを投げたり、おもちゃの特定の部分だけに興味を持ったりする子は、一人では遊びのレパートリーを広げることが苦手な場合が多いようです。

一人だと、同じような遊びを繰り返してしまいがちなので、少しでも大人と一緒に遊ぶ時間を作り、遊びの見本を見せてあげましょう。「〇〇ちょうだい」「〇〇できたね」など、場面に合った言葉かけをするのもポイントです。それらの真似をしながら、遊びのレパートリーは少しずつ広がっていくでしょう。

## 😊 皆さんに知ってほしい、神経発達症（発達障害）

もし、あなたがお子さんの「個性」「行動」によって、不安や育てにくさを感じる場合、原因の1つとして、「神経発達症（発達障害）」をもっていることがあります。神経発達症（発達障害）は、年齢や生活、保護者の育て方、家庭のしつけなどが原因ではありません。早くにお子さんに合った育て方を一緒に見つけていくことで、その子の能力を伸ばしたり、「自分はだめな子」と思ってしまうような、自尊感情の低下を防ぐことができます。

**神経発達症（発達障害）とは** 特性や現れる困りごとによって、大きく ASD（自閉スペクトラム症）、ADHD（注意欠陥・多動症）、LD（限局性学習症）の3つのタイプに分けられます。



### 支援のポイント

#### 〈ASD（自閉スペクトラム症）への支援の基本〉

- ・耳からの理解より、目で見ることのほうが得意なので、文字や絵で伝えると子どもにもわかりやすい。
- ・初めての場面や慣れない行動は苦手なので、子どもに事前に予定を伝えると安心感が持てる。

#### 〈ADHD（注意欠陥・多動症）への支援の基本〉

- ・気が散りやすいので、余分なものは片付ける。
- ・短時間でも集中できたらほめたり、身体を動かせる時間をとるようにする。



#### 〈LD（限局性学習症）への支援の基本〉

- ・「がんばれ」だけでは苦手なことはできないので、一人一人の特性に合った教え方をする。

### 相談や支援の窓口

保健師による相談や、臨床心理士による相談、専門スタッフが、子どもさんの体験を広げ、成長発達の手助けをする教室などがあります。お気軽に相談ください。

- ・子育てサポート課 母子保健係 保健師 電話78-9711
- ・子育てサポート課 子ども相談係 電話72-0999
- ・高遠町市民福祉課 市民福祉係 保健師 電話94-3696
- ・児童発達支援センター小鳩園 電話72-2576